



八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班（8月分）

標 題	高校生が水稻栽培への理解を深める		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班
年月日	令和5年8月21日	場所	県立宇和高校農場	
指導対象	県立宇和高校生徒（13人）	連携機関	西予市水稻防除協議会	
普及指導内容	<p>○将来的な地域農業を担う人材育成を推進するため、宇和高校に設置している水稻肥料試験ほ場で、水稻収穫期調査に関する研修会を開催した。</p> <p>○収穫期調査方法について指導した後、生徒は稈長、穂長、穂数の3項目の調査と坪刈りを行い、施肥方法の違う水稻の生育状況・収量等を数値で客観的に把握した。</p>			
結果と今後	<p>○次代の担い手や指導者として期待される高校生が、地域の主要品目である「宇和米」に対する理解を深める機会となった。</p> <p>○12月上旬には、今回収穫したサンプルを用いて収量・品質調査に関する研修を計画しており、本活動を通じて、農業の現状や魅力を生徒に伝え、地域農業を担う人材の育成に努める。</p>			
				<p>左：調査方法を指導</p> <p>右：収穫期調査を体験する生徒</p>

標 題	耕畜連携に向けた連絡会議を開催		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班
年月日	令和5年8月29日	場所	JA ひがしうわ野村畜産センター	
指導対象	コントラクター組織、耕種農家等(20人)	連携機関	JA ひがしうわ、西予市、南予家畜保健衛生所	
普及指導内容	<p>○肥料や飼料を始めとする資材価格の高騰が続く中、第2回 JA ひがしうわ耕畜連携連絡協議会の第2回会議が開催され、当班は構築連携に向けた取組みについて指導した。</p> <p>○協議会では畜産農家が必要とする WCS 用稲の確保に向け、生産体制の確立と増産への支援を行っており、当班は、WCS 用稲の安定生産に向けた実証ほの設置、栽培技術の指導等を行い、増産に向けた取組みを支援している。</p>			
結果と今後	<p>○その結果、管内の WCS 用稲は、123ha(前年度対比 120%)の作付が計画され、畜産農家の要望に対し 87%が確保される見込みとなった。</p> <p>○今後も、WCS 用稲の確保に向け支援を行うとともに、補助事業の活用支援等により、堆肥舎や JA 堆肥センターで製造された堆肥の耕種農家での利用拡大を進めていく。</p>			
				<p>左：WCS 用稲の収穫</p> <p>右：耕畜連携連絡会議で協議</p>